

●6年制学科のカリキュラムの特色

徹底的な学修サポート体制のもと、薬学にかかわる基礎および専門科目を第1学年次から学びます。高学年次には研究室で薬学研究に携わり、薬剤師や薬学に関する専門職に必要な問題発見・解決能力を養います。また、大学病院などの臨床現場での経験豊富な医師・薬剤師による親身な指導によって、医療現場で求められる力を身につけます。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

大学附属の兵庫医科大学病院をはじめ、近畿地区調整機構を通じて、病院約60施設および薬局約100施設へ受入を依頼し、「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」に基づいた実務実習を行います。また出身地での実習を希望する学生に対しては、ふるさと実習を実施しています。

●病院実習先・薬局実習先

兵庫医科大学病院、神戸医療センター、姫路医療センター、国立循環器病研究センター、大阪医療センター、京都中部総合医療センター、兵庫県立加古川医療センター、大阪大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院 等 計70カ所 (2022年度)

サエラ薬局、さくら薬局、そうごう薬局、にしいち調剤薬局、ライフ調剤薬局、阪神調剤薬局、西宮センター薬局、フタツカ薬局、ぼうしや調剤薬局 等 計108カ所 (2022年度)

●アドバンスト(臨床)実習

実習には、卒業後、直ちに活躍できる臨床薬剤師としての素養を身につける「病院実務実習」「薬局実務実習」と、基礎的な技能を含む専門知識や問題発見解決能力、チームとして取り組む姿勢を修得する「研究実習」があります。

●多職種連携教育の具体的な内容

臨床教育統括センターが全学部のIPE(多職種連携教育)を統括し、第1学年次から他学部の学生との合同学習など、特色ある科目を段階的に設けています。また、IPEをさらに推進していくために、座学やグループ討議、模擬カンファレンスに加えて、兵庫医科大学ささやま医療センターにおいて、4学部合同で「多職種連携総合臨床実習」を行い、従来のチーム医療を発展させたIPW(多職種連携協働)を実践できる人材を育成します。

●多職種連携教育を行う医療施設名

兵庫医科大学病院・兵庫医科大学ささやま医療センター

●薬剤師国家試験への取り組み

学生一人ひとりの学力状況にあわせた国家試験対策を実施

- ・学内教員による自己学習のサポート、個別学習面談(進捗サポート、学習方法の相談、質問対応など)
- ・模擬試験(9月~1月まで毎月末)+担当教員によるフィードバック
- ・学内授業の国家試験対策講習会(後期)とは別に外部講師を招聘したカリキュラム外の学習
- ・第1学年時から第5学年次まで講習会や試験により学修の進捗をチェック

●卒業研究について

本学は科目分野制教員組織をとっているため、卒業研究(研修実習)は各教員が独自のテーマを掲げ、希望する学生が教員1名につき4名まで配属される形で研究を行う密着型の卒業研究を行っています。5年次の病院・薬局実習がない期間は、すべての学生が研究実習を行います。研究実習の指導教員は、各人の研究テーマについての実験指導はもちろんのこと、国家試験に向けての学修など、様々な面から担当する学生をサポートする体制をとっています。

●入試の変更点

- ・総合型選抜の出願資格が1浪まで可能になります。
- ・大学入学共通テスト利用(面接併用型)が廃止されました。
- ・大学入学共通テスト利用(後期日程)の内容が変更になります。

●入試に合格するためのアドバイス

化学の配点が2倍と高く設定されているため、化学で得点が取れるようになれば合格率は上がります。

●過去問を公開しておられますか

WEB上で公開はしておりません。過去問題は教学社「赤本」に過去2カ年分が掲載されています。

●面接や小論文について教えてください

面接の詳細は公表しておりません。小論文は課していません。

●大学独自の奨学金制度

<https://www.hyo-med.ac.jp/admission/expenses/scholarship/>

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

回答なし

●オープンキャンパスの日程

8月オープンキャンパス
8月5日・6日・20日
学部ガイダンス、入試ガイダンス、授業体験、キャンパスツアーなど